

第1回宮古市中心市街地拠点施設市民検討委員会 議事録

1. 日時 平成26年7月22日（火） 午前9時30分～11時
2. 場所 宮古市役所本庁舎 4階特別会議室
3. 出席委員 19名
4. 傍聴者 2名
5. 議題 ①宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本構想（案）について
②宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画の策定について
③今後のスケジュールについて
6. 議事録（要旨）
委員長に北原啓司委員（弘前大学教授）、副委員長に花坂康太郎委員（商工会議所会頭）を選任後、議事に入る。

①宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本構想（案）について

主な質疑事項
質疑 ・現庁舎の位置は、防潮堤建設後には、安全だと説明を受けているが今も変わらないのか。
回答 ・防潮堤整備後は浸水エリアから外れる。築地も浸水エリアから外れており、第1分団屯所も現地復旧した。庁舎建替えは、様々な理由があり、耐震性も大きな原因の一つ。
質疑 ・この計画自体は、どのように決定されていくのか。
回答 ・基本構想の決定後には、基本構想で方向づけたものを基本計画でまとめていく。市民検討委員会の委員の皆さんに内容検討していただく。議会には説明する機会を設ける。また、合併特例債の延長にも関連して新市建設計画の変更を行い、議会でも議論する。
質疑 ・川井との合併当時、庁舎建替えの必要性を確認したが、当時は学校耐震事業などの課題が山積みで手が回らないとのことであった。この事業を実施することにより、他事業への影響はあるか。
回答 ・現在、新市建設計画のとりまとめ、進捗確認を行っている。平成25年度末の執行額は、83億で発行予定額の約160億の半分程度。今回取りまとめで、10年間未

<p>実施の事業などを精査していく。取りまとめ後、地域協議会等で議論するが、市民検討委員会にも資料提供したい。基本的には、拠点事業を実施することで、計画されている事業を廃止することはない。</p>
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概要版３で行政機能の分散化が課題となっているが、川井は合併時に旧宮古市の行政機能を配置していない。行政の場所は、住民から見れば、より近くにあるべきであり、全て集約されることは望まない。表現を改めた方が良い。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合事務所は今回の集約については除く形で議論している。誤解がないように表現を工夫したい。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併特例債の延長１０年を市で決めたようだが、新市建設計画との関連性と、決定に至る経緯は。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合併特例債の延長することは、新市建設計画に見直しが前提となる。どのように見直すかは、計画中であり、庁内合意もまだなされていない。事務方では、合併特例債の延長は５年と考えている。新市建設計画のチェック体制として、地域協議会は当面存続していきたい考えであり、そのあり方も含めて近いうちに議論したい。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅と駅南側をつなぐ自由通路は、図面上点線で表記しているが、その財源は。長岡は、駅から市庁舎の移動が大変便利。逃げ込む人の避難道路としても非常に重要。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復興庁とは、用地費の復興交付金申請の際に都市計画課が協議をした。拠点施設は一時避難施設であることから、避難路として、交付金対象となるよう調整を図ったが、駅前が震災時に浸水しなかった地区であることから、該当しないと回答を得た。南北の一体感の醸成や公共交通とのアクセスの点からも重要な施設である。財源の目途が立っていないが、最終的には、合併特例債を充当する可能性が高く、今後検討していく。

②宮古市中心市街地拠点施設整備事業・基本計画の策定について

<p>主な質疑事項</p>
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設という用語は、一般の方からは分かりにくいのではないか。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「広報みやこ」の本文で説明をする予定。「拠点施設」という表現はやむを得ないが、分かりやすいよう表現の仕方を工夫する。

<p>質疑</p> <p>・ B 案の質問 1 0（庁舎建設時期）は、質問 7（施設機能）の前の方がつながりが良い。市民の方もわかりやすいのでは。</p> <p>回答</p> <p>・ 検討したい。</p>
<p>質疑</p> <p>・ B 案の質問 1 0（庁舎建設時期）は、「庁舎建設の必要がない」「必要性に疑問がある」などの回答も用意した方が良いのでは。</p> <p>回答</p> <p>・ 検討したい。</p>
<p>質疑</p> <p>・ 質問 1 4（本庁舎の跡地利用）は、分庁舎の跡地は議論しなくていいのか。おそらく解体されるのではないか。また、質問 1 4 の回答数もできれば 3 つまでが良い。</p> <p>回答</p> <p>・ 検討したい。</p>
<p>質疑</p> <p>・ 質問 2 ～ 5（現庁舎の利用状況等）は、移転の方向性が決定されているのであれば、削除しても良いのではないか。</p> <p>回答</p> <p>・ 施設の計画に活かすため、現在の利用状況を把握したい。</p>
<p>質疑</p> <p>・ 回答数は限られてくると思うが、回答があったものだけで計画を策定するのか。</p> <p>回答</p> <p>・ 本来アンケートの回収率は、3 0 % 以上を設定する。仮にそれを下回ったとしても、回収結果は、市民の総意ではなく、参考値として考える。</p>

※市民アンケート調査票は、B 案を採用する。今回の意見を踏まえ、事務局で修正案を作成する。市民アンケートは、「広報みやこ」8 月 1 5 日号に折込予定で、修正案の確認は、委員長及び副委員長に一任とし、その他の委員には、確定したアンケートを事前配布することと決定する。

③今後のスケジュールについて

市民検討委員会の開催日程等について説明。

その他の質疑等

主な質疑事項
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none">・震災まちづくり検討会では、事前に資料送付のうえ、質問や意見を委員から提出し、会議当日には、それらの回答をする形をとった。会議で発言しにくい方もおり、そのような形をとることで進行もスムーズになると思われる。ぜひ、同じ形式をとって欲しい。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none">・そのようにしたい。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none">・土地の取得については、地権者との協議は順調か。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none">・順調に協議を進めている。
<p>質疑</p> <ul style="list-style-type: none">・若い方の意見を集約するためには、市のホームページなどのウェブ上で意見募集やアンケート実施した方が良いのでは。 <p>回答</p> <ul style="list-style-type: none">・今年度はフェイスブックやツイッターを市で始めた。色々な媒体でPRしたい。ホームページ上で意見集約できるよう検討したい。